

貸 借 対 照 表

(令和 6年 8月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	449,937	流動負債	135,392
現金及び預金	275,698	買掛金	8,492
売掛金	86,859	未払金	892
契約資産	2,078	未払費用	15,401
未収入金	119	未払給与	47,412
前払費用	2,615	未払事業税	1,038
仮払金	2,564	預り金	12,737
関係会社短期貸付金	80,000	未払消費税	28,613
固定資産	196,950	未払法人税等	20,803
有形固定資産	367	固定負債	297,738
工具、器具及び備品	285	関係会社長期借入金	297,738
車両運搬具	0		
機械及び装置	82		
無形固定資産	150,122	負債合計	433,130
のれん	93,406	(純資産の部)	
顧客関連資産	56,715	株主資本	213,756
投資その他の資産	46,459	資本金	10,000
敷金	3,730	資本剰余金	25,000
繰延税金資産	41,164	資本準備金	25,000
差入保証金	1,565	利益剰余金	178,756
		その他利益剰余金	178,756
		繰越利益剰余金	178,756
		純資産合計	213,756
資産合計	646,887	負債・純資産合計	646,887

【個別注記表】

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…………… 定率法

(ただし構築物については定額法を採用しております)

無形固定資産…………… 定額法

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金……………従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当該事業年度に負担すべき金額を計上しております。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 収益及び費用の計上基準

IT機器の販売事業においては、PC、サーバ、ネットワーク機器の販売を行っております。IT機器の販売に係る収益は、原則として顧客に引き渡した時点で顧客が支配を獲得し履行義務が充足されると判断しており、引き渡した時点において収益を認識しております。

SIer事業においては、ITインフラの設計・構築・及び運用並びに保守サービスの提供を行っております。ITインフラの設計・構築に係る収益は、支配が顧客に移転した時に認識しており、原則として顧客の納品確認に基づき一時点で認識しております。運用並びに保守サービスの提供に係る収益は、主にシステム運用やソフトウェア等の保守であり、顧客との保守契約に基づいて保守サービスを提供する履行義務を負っております。当該保守契約は、一定の期間にわたり充足される履行義務であり、履行義務の充足に応じて収益を認識しております。

システム技術者支援サービス事業においては、顧客との役務提供契約に基づいてサービスを提供する履行義務を負っております。当該履行義務は、サービスを提供が完了する時点において、顧客が当該サービスに対する支配を獲得して充足されると判断し、提供完了時点で収益を認識しております。

当社が代理人として商品の販売に関与している場合には、純額で収益を認識しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …… 税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の数に関する事項

株式の種類	前事業年度末 の株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 の株式数
普通株式	1,000株	—	—	1,000株

3. その他の注記

該当事項はありません。